

説教「わたしは良い羊飼いです」

(エゼキエル書 34 章 7-15 節 ヨハネによる福音書 10 章 7-18 節)

2022 年 5 月 1 日 主日礼拝

日本基督教団仙川教会

大串肇

「わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。」

I am the good shepherd. The good shepherd gives His life for the sheep.

(ヨハネ 10 : 11 NKJ)

イエスはご自身が一体何者であるか。さまざまな比喩を用いて公にしました。この場合、「羊飼いです」という比喩を用いて、イエスはわたしたちの救い主であることをお示しになりました。ただ注目していただきたいのは「良い羊飼いです」ということです。悪い羊飼いですではなく、良い羊飼いですであることが重要です。かつて預言者エゼキエルはイスラエルの牧者、この場合は王、指導者が悪い牧者であると非難しました。牧者は本来、自分の群れのために苦勞すべきです。ところが、彼らは「弱いものを強めず、病めるものをいやさず、傷ついたものを包んでやらなかった。また、追われたものを連れ戻さず、失われたものを探し求めず、かえって力づくで、苛酷に群れを支配した。彼らは飼う者がいないので散らされ、あらゆる野の獣の餌食となり、ちりぢりになった」(エゼ 34:4-5) と。

羊飼いの実際の仕事は過酷なものがありました。創世記 31 章によれば、「昼は猛暑に夜は極寒に悩まされ、眠ることもできない過酷なものでした。羊飼いは、群れの雄羊を食べたこともありません。野獣にかみ裂かれたものがあっても、盗まれたものも、全部自分で弁償しなければなりません。たいへん苦勞するのです。割が合わないかもしれません。王や指導者たちはこうあるべきだと預言者は言うのですが、実際は私利私欲のため自分の群れを飼うことを放棄している。そこで神は王たちを廃して、自分が自ら民のために苦勞し、心を砕き、全力で世話をしてくださるとお語りになられたのです

主なる神はこう言われる。見よ、わたしは牧者たちに立ち向かう。わたしの群れを彼らの手から求め、彼らに群れを飼うことをやめさせる。牧者たちが、自分自身を養うことはもはやできない。わたしが彼らの口から群れを救い出し、彼らの餌食にはさせないからだ。11 まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。(10-11 節)

「探し出す」「世話をする」言葉は異なりますが、ほとんど同じ意味なのです。バラバラになっている群れを一匹一匹ずつ探し求めるように神は配慮してください。この神の配慮はより具体的なのです。

散らされた群れを、すべての場所から救い出す (12 節)

連れ出し、諸国から集めて彼らの土地に導く。 (13 節)

これは出エジプトのことです。しかしそれは過去のことです。ここで繰り返し語られているのは、安住の地、「良い牧草地」で養うということです。「養う」という言葉が 15 節までに 3 度も繰り返し語られています。この言葉こそ、「牧者」という言葉のもとになった言葉です。羊を「牧する」という意味です。こうして神は罪と死、不安と恐れから解放してくださるとお約束になられたのです。

この神の約束の光の中で、イエスはご自身を「良い羊飼い」とであると宣言しました。イエスこそわたしたちを養うために来てくださった本当の牧者です。他方、「良くない」羊飼い（たち）とは、偽の指導者たちです。つまり、彼らはオオカミのような試練が襲ってきたら逃げてしまい、羊たちを見捨ててしまいます。他方、本物は自分の命を捨ててまでも自分の羊を守ります。これはまさにイエスの十字架を指し示しています。

わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。 (14-15 節)

この第二の宣言では、羊飼いのみならず、羊のことについても語っています。羊飼だけでなく、羊も良く知っているということです。誰が本当の、そして自分の牧者であるかを。「知る」とは知的、あるいは感覚的な意味で単なる「知覚」のことを示していません。「選ぶ」という言葉に近い。あるいは「愛する」という意味が含まれています。神を知るとは、神を愛し、神に従うことを意味するのです。ここではその愛は一方的な押しつけではなく、羊飼いと羊が双方において信頼し、その人格を十分理解しつつ、愛し合っている関係にあることを指示しています。羊飼いがその名前を呼んで導く声を羊は知っている。このようにして神がわたしたちのために語りかけてくださる聖書のみ言葉を聞くことを通して、わたしたちは羊のように羊飼いを信じる信仰を深め、主に従っていくことが出来るのです。信仰こそわたしたちの良き牧場であり、礼拝において聖書のみ言葉に心の耳を傾け、主に従っていくこと祈り求めることに他ならないのですお祈りいたします。